



JAPAN HERITAGE

日本遺産

魅力的な染織文化を持つ日本遺産認定地域が藍の館へ集合します！
日本の伝統の彩りと織りの魅力を体感してください。

2024.
日時

11.16 **土**

9:00~16:00

会場

藍住町歴史館「**藍の館**」

※11月16日(土)・17日(日)は**入館料無料**です。



日本遺産フエスタ



藍のふるさと藍住

日本の彩と織



藍の館で通常体験できる
藍染めに加えて、次のメニューの
体験ができます。

桐生織角帯
コースター作り



八王子の
手織り体験



紅花染め体験



缶バッジ作り
(ぐんまちゃん、
八王子織物)

紅花染め製品、八王子織物製品
などを販売します。

物販



今に残る藍の文化、そして未来へ

- 10:00~ 阿波木偶箱まわし保存会 公演
- 10:30~ くすのきしげのりさんの絵本読み聞かせ&フリートーク&サイン会
- 13:00~ 阿波人形浄瑠璃 公演

- 日本遺産地域連携展示 **11月 6日(水)~12月 2日(月)**
➔ 紅花染やその製品、群馬の生糸と桐生織、八王子織物などについての展示
- 奥村家所蔵の着物展示 **11月16日(土)~11月17日(日)**
➔ 奥村家に伝わる古い藍染めの着物を展示
- くすのきしげのりさん絵本展示 **11月16日(土)~11月17日(日)**

展示

問い合わせ先

藍住町歴史館「藍の館」 ☎ 088-692-6317
藍住町教育委員会社会教育課 ☎ 088-637-3128



「かかあ天下
—ぐんまの絹物語—」

• かかあ天下ぐんまの絹物語
協議会



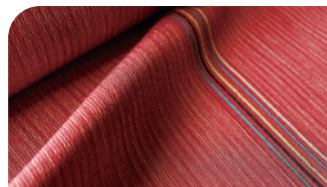
「山寺が支えた紅花文化」

• 「山寺と紅花」推進協議会



「藍のふるさと阿波
～日本中を染め上げた
至高の青を訪ねて～」

• 藍のふるさと阿波魅力発信
協議会



「靈氣満山 高尾山
～人々の祈りが紡ぐ
桑都物語～」

• 日本遺産「桑都物語」推進
協議会



今に残る藍の文化、そして未来へ / くすのきしげのりさん



1961年徳島県生まれ鳴門市在住。児童文学作家。

絵本「おこだでませんように」（小学館）が2009年に全国青少年読書感想文コンクール課題図書となる。また、「ふくびぎ」（小学館）、「ともだちやもんな、ぼくら」（えほんの杜）が共に第3回ようちえん絵本大賞を受賞する。「メロディ」（ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス）、「ええところ」（Gakken）など多くの教科書掲載作品をはじめ「Life（ライフ）」（瑞雲舎）、「ぼくはなきました」（東洋館出版社）等200作品を超える著作は海外でも広く読まれている。



国指定重要無形民俗文化財
阿波人形浄瑠璃



阿波人形浄瑠璃は、莫大な富を得た藍商人が庶民の娯楽として定着させた徳島を代表する民俗芸能です。義太夫節の浄瑠璃と太棹の三味線、3人遣いの人形の三者によって演じられる人形芝居で、人形の首の大型化とそれを生かした大振りな人形操作による独自の演出法が特徴です。

太 夫：友和嘉会
三味線：竹本友和嘉
人 形：鳴門座
演 目：傾城阿波の鳴門 順礼歌の段

徳島県指定無形民俗文化財
阿波木偶「三番叟まわし」



阿波木偶「三番叟まわし」は、四国を代表する門付（かどづけ）芸です。千歳（せんざい）・翁（おきな）・三番叟（さんばそう）の木偶で「式三番叟」を舞い、家内安全・無病息災や五穀豊穡を祈り、えびす木偶が商売繁昌や豊漁を祈ります。

アワデコ ハコマワシホゾンカイ
阿波木偶箱まわし保存会

阿波木偶「箱廻し」や「三番叟まわし」をはじめ、徳島県独自の祝福芸や門付芸等の無形民俗文化財調査研究を目的として1995年に発足しました。